

## (4)「災害に強いまちづくり」をテーマにした意見交換(要旨)

### 1. AEDの設置・建物の耐震助成について

#### 【ご意見】

境2丁目で、自主防災組織光和会の会長をしている。私たちは、自然災害の防災と人的災害の防犯の両方をテーマに掲げて運動している。啓蒙活動として、会報を2カ月に1回出しており、毎年1回、武蔵野消防署のご指導のもとに、防災訓練を行っている。また、立川防災館や池袋防災館などに2年に1回ぐらい行って、そこで体験活動をしてくる。最近、防災マップを作ったが、班別の組織体制を書き込むとともに、例えば、災害弱者の方とか、子どもがどこにいるかという情報を書き入れたり、一人住まいの老人の方が倒れた場合の緊急連絡先を書き入れたりして、自宅の電話のそばに置いておいてもらうなどの活動にも取り組んでいる。

避難場所については、一時集合場所があるが、実際に行ってみなければ、どこにあるのかわからないので、会として、夜間に70名ぐらいで歩いて行った。また、市で防災に関する様々な助成をやっているが、火災警報機も70歳以上の高齢者のみの世帯には補助が出る。市から紹介された業者を研究して、会員から55台の申し入れがあったが、会で全部一括して購入した。消火器の購入や家具の転倒防止なども、市からいろいろ援助が出るが、これも会として全部一括して申請した。消火器については、量販店で探して、会で一括して、しっかりしたものを購入した。



現在、初級の救急救命士の資格を19名の方が取っているが、問題はAEDの設置場所だ。武蔵境の全域を調べて、どこにあるかはわかったが、貸し出しを受けるとか、時間外に利用することはできない。私たちはコンビニエンスストアにぜひ置いてもらいたいと考えている。

また、一番大変なのは、建物の耐震がどうしたらできるかということだ。聞いてみると、これはなかなか補助が出ない。いつまでに建てた建物以外はだめだということなので、そうではなくて、もっと積極的に全家庭に対する補助を出していただきたい。

#### 【市長】

境2丁目地域での自主防災活動については大変敬服をする次第ですが、このような取り組みを他の地域にもぜひ参考にしてもらいたいと思いますので、市で情報をまとめながら、何らかの形で情報提供をしたいと思います。

AEDについては、公共施設では設置が進んでいます。しかし、公共施設は、通常の開いている時間しか利用できません。防災課でもいろいろ検討していますが、24時間開いているコンビニなどの施設への設置も今後研究してみたいと思います。そういう場所は、きちんとわかりやすくマップに落とせるといいと思います。全市を対象とした防災マップでは情報が

限られますので、地域限定のマップを各地域で作れたらいいと思います。

建物の耐震補強については、私も課題として考えていますので、従前、昭和56年以前の建物が建築基準法の関係で耐震的には非常に厳しい建物だということで、優先して耐震診断や耐震改修等の費用助成をしていましたが、昭和57年以降に建てられた戸建住宅・共同住宅などについても、耐震診断の費用を助成していますので、ぜひそういう制度をご利用いただきたいということと同時に、耐震に関する相談窓口も予約制ですが、毎週水曜日に実施していますので、ご利用いただきたいと思います。最近、かなり簡便な方法による耐震補強の工事もできるようになっていますので、それらもご案内できるかと思っています。まずは住んでいるお宅を守っていただくことが、私としては最優先の課題だと考えていますので、壊れないまちをぜひ一緒につくっていききたいと思います。

## 2. 地域におけるコミュニケーションについて

### 【ご意見】

桜堤に住んでいる。先ほど消防署の警防課長から、今年の武蔵野市での焼死者は2名という話があったが、それは私どもの地域のことだ。団地に住んでいるが、お亡くなりになったお宅は、いわゆる「ごみ屋敷」で、扉が開かないぐらいのごみが詰まっていた。ここが今年の春に火事を起こしたときに燃えたのは、たった3畳だ。ぼや程度の火事で、2名も亡くなっている。私は、1年前にこのごみ屋敷を見つけ出して、整理するように強く進言したが、聞き入れてもらえなかった。公団の管理人にも強く言った。市役所のごみ総合対策課職員にも、そのお宅に行ってもらったが、頑としてプライベートの問題だ、どかすわけにいかないということで断られた。いざ災害というときには、市長の権限でプライバシーをどうにかすることはできないか。プライベートがあまりにも強調されると、コミュニケーションにも影響してくる。災害のときには、消防や警察は大したことはできない。実際は、隣近所、お友達、顔なじみの方々、家族によって救われている。コミュニケーションの阻害要因の一つにプライベート問題があるのではないか。プライベートを金科玉条のごとくあまりに言うのは、行き過ぎではないかと思う。



### 【市長】

桜堤の大変悲惨な火災で亡くなられたということで、私も心を痛めています。家の中のごみなどについては、行政が直接介入することは難しい課題です。しかし、コミュニケーションを増していくことは大切であり、コミュニケーションを増すことによって、これはもっと整理したほうがいいんじゃないかといったような関係になっていくかと思っています。地域でのコミュニケーションを増やしていくために、市はどのような支援ができるのかを考えたいということと同時に、周辺が不安を抱くような、例えば、外から見て、ベランダに段ボール等の火がつきやすいものがたくさんあったとしたら、放火防止という観点から、撤去をお願い

する対象になり、行政による指導ができると思います。地域の課題は、地域の皆さんと一緒に取り組んでいく姿勢が必要ですので、そういう情報も含めて、市に情報提供をいただければと思います。

### 3. ハモニカ横丁のインフラについて

#### 【ご意見】

吉祥寺駅前商店連合会としての意見だが、うちのハモニカ横丁は終戦直後からの建物で、インフラが老朽化している。毎年、武蔵野消防署による査察を受けているが、これはうちのほうからお願いしている。ぼやも出ないし、放火も早期発見され、結果的によいのだが、阪神・淡路大震災発生の際の二の舞にならないよう、武蔵野の顔のところにあるマーケットなので、行政の力で、このインフラの問題を早く解決していただきたい。後日、うちの若いチームが皆さんのアンケートをとって、市長にお願いに上がるかもしれないので、そのときはよろしくお願ひしたい。



#### 【市長】

ハモニカ横丁の件は、大きな課題です。個々の建物の建替えが難しいこともあり、いざというときにどうなるのか、私も大変心配しています。点検の対象にはなっていませんが、消防署にご協力をいただいて、防火の指導をしています。そういう点検・指導をこれからも消防署に協力いただき、皆さんの自主的な防災活動にも期待したいということと同時に、市としても、きちんとした消火栓あるいは大型の消火施設等の設置をこれから検討していきたいと思えます。ハモニカ横丁は、吉祥寺の玄関口に位置する大変ユニークな場所です。あそこは今まで何回もどうしたらいいかという議論をしているんです。防災上、大変危険なところというのは皆さんが言うのですが、最終的には、あそこの雰囲気がいいねと、ぜひあそこを守ろうということになってしまいます。現時点では、防災施設の強化ということが可能だと思いますので、それを含めて、今後とも、地元と話し合いを進めていこうと思えます。それから、何か要望があるようですので、随時ご提案いただきたいと思えます。

### 4. 公園内への防災倉庫の設置について

#### 【ご意見】

桜堤3丁目に住んでいる。桜堤コミュニティセンターで開催されたタウンミーティングのときに、桜堤の上水北公園を防災公園にしてほしいとお願ひした。それは市の予算もあることだし、無理かと思ってあきらめたが、ぜひあそこに防災倉庫を1つ置いてほしい。それと、防災器具の一部と少々の工具を置いていただきたい。そのぐらいなら、市の予算でもできると思う。私は、去年7月に、自主防災組織を立ち上げて、11月に消防署と市の防災協会の方の協力を得て、第1回の防災訓練をやったが、今年も第2回の訓練をいろいろ考えているの

で、防災倉庫の件も検討していただきたい。

### 【市長】

桜堤コミセンでのタウンミーティングのときに、桜堤コミセンの南側にある上水北公園に防災機能を持った広場を整備してほしいという要望をいただきました。これから公園を整備する、リニューアルをしていくときには、必ず防災機能を加味するという方針でいます。防災倉庫の設置については、基本的には避難所等に現在設置しています。桜堤地区には、桜野小学校あるいは第二中学校に現在防災倉庫があるわけですが、桜堤3丁目は、玉川上水を挟んで北側の地域であり、それらの場所から少し離れたところにありますので、コミセン用に置いてある備品をより利用しやすくするという方法と、可搬式消防ポンプは設置が可能だと考えていますので、災害対策用のポンプをその場所に設置していければと思います。



## 5. ハモニカ横丁のインフラ整備に関する要望について

### 【ご意見】

ハモニカ横丁の老朽化が進んでいて、ハモニカ横丁を安全・安心に買い物ができる横丁にということで、吉祥寺駅前商店連合会として、要望書をお持ちしたので、読み上げる。「戦後60年、ハモニカ横丁は老朽化の極みにある。一昨年は、下水による沈下、陥没、ガス漏れがあり、昨年は、地盤が2カ所沈下、漏電によるぼやなどがあった。ハモニカ横丁があのままの状態になっているのは、再開発地域のときまでは手をつけない、いずれは新しいビルになるだろうからということだったと思う。60年が経ち、再開発もいつ現実化するかわからない。この横丁には通年多くの人を訪れ、吉祥寺駅前の重要な商業地区でもある。

私たちは決して再開発に反対するつもりはないが、ガス・電気・上下水道等のすべてにおいて劣化が激しく、非常に危険な状態にあり、いつ悲惨な災害が起こるか、日々のニュースを耳にするたびに、ハモニカ横丁のありさまを考えずにはいられない。ここにインフラ基盤を再生して、安全・安心な横丁にしたいと思っており、各役員一同決議した。各関係者各位の早急なるご理解、ご協力を求め、ここに要望書を提出する。

具体的には、武蔵野市より上下水道・東京電力・東京ガス・NTT・武蔵野三鷹ケーブルテレビ等へ早急に現状の報告を依頼していただき、その後、改善方法や見積もり等の試案を作成するにあたり、再生・更生案等を私どもの関係者を含め、話し合う場をつくっていただきたい。武蔵野市をはじめ、各関係機関にもぜひご協力、ご支援をお願いする。」書面をお持ちしたので、後ほど、市長にお渡しする。

## 6. ハモニカ横丁のトイレに関する要望について

### 【ご意見】

ハモニカ横丁のトイレについて、もう少し何とかならないか。テナント・大家・一般市民

第21回タウンミーティング  
H20.8.20 開催・武蔵野商工会館  
意見交換要旨

約1,000名の署名をもらったので、ハモニカ横丁祥和会からの要望書を読み上げる。「吉祥寺ハモニカ横丁の祥和会のトイレについて、皆さん公衆トイレとされているが、これは私的所有のトイレである。これを維持管理し、だれもが利用できるトイレとして、今日まで開放してきた。しかし、近年、整備・維持管理等に問題が多発し、現在、トイレが公共的にふさわしい状況にない。この場所を利用する皆様が安心・安全に利用できる再生を目指し、快適なトイレにしたいという思いで、ハモニカ横丁以下、町内会一同は長年の希望案を4月15日に、『(仮称)ハモニカ横丁内トイレ計画(案)』として決議した。ご理解、ご支援のほどよろしくようお願い申し上げ、ここに要望書を提出する。」



理由は3つある。1つは、安心・安全な買い物のできる横丁にしたいのだが、100軒の店舗がある。トイレがないのは60軒ぐらい、飲食でないのが30軒ぐらいある。特に近年、盗撮とか、あるいは、和式トイレしかないのが、体の悪い方が、小用を足すほうで足すというような、これはやむを得ないことだと思うが、そういうようなことがある。

もう一つは、かつて北口の「サーティワンアイスクリーム」のところに公衆トイレがあった。これが、20年ほど前になくなったときに、JR近辺に24時間使える公衆トイレをつくるという約束があったようだ。いろんなところでそういう話を聞く。

最後に、東京都福祉のまちづくり推進協議会の平成18年7月の文書の中に、「東京は世界で有数の清潔で安全な都市であり、トイレは、この清潔さが最もあらわれる設備で、まちの品性につながる。」という一文があるが、この中に特に行政とまちの人たちが協力してトイレをつくったらどうだろうか、あるいは整備したらどうだろうかという意見がまとめられている。

市のほうでは、この窓口、あるいはどこに相談したらよろしいのかを答えてほしい。

## 【市長】

ハモニカ横丁に関しては、要望書を拝見して、検討を進めていきたいと思います。地域の方がそういう強い思いをお持ちだということは私も認識しましたので、これからどうやって安心・安全なハモニカ横丁を再整備できるかということについては、話し合いの場をつくって意見交換をしていきましょう。なるべく具体的な行動に移ってほしいと思います。

## 7. 防火水槽について

### 【ご意見】

中町に住んでいる。私の住んでいるマンションでは、市の指導要綱により、中町北公園という土地を提供している。その公園に、市が消防用地下タンクを設置しているが、そのタンクができてから25年間、一度もその中の水が使われていない。このタンクから、ポンプでマンション用受水槽に水が供給されている。そのため、地下タンクに25年貯まったままの水が

飲料水に混入するおそれがあるが、今後も、使われないという状態が続くと、よくない影響があると思う。

せっかくタンクをつくった以上、定期的に水を入れ替えてもらいたい。また、空にした時点で地下タンクを定期的に掃除していただきたい。マンションの地上の受水槽は毎年1回掃除している。法令上、1年に1回必要なのはわからないが、毎年掃除しているのに、片や入れっぱなしで25年一度も使われていない水が紛れ込んでくるというのは不衛生だし、せっかく上質な武蔵野の地下水がふんだんに入っているおいしい水の味が落ちることもあると思う。

### 【市長】

中町北公園のお話をいただきましたが、おそらく防火水槽かと思いますので、飲料水にはおそらく混入していないと思います。それも含めてどのような管理をしているのか、市のほうでも点検を試みたいと思います。(※確認結果については、29ページをご参照ください。)

## 8. 災害時の障がい者対応について

### 【ご意見】

吉祥寺南町に住んでいる。私は、ここ10年ほど、障がい者のことについて、地域で関わっているが、災害時のマニュアルの中に、障がい者の視点を入れることが必要だと思う。障がい者というと、一般的にイメージされるのは、身体障害だが、実際に理解されにくいのは自閉症や精神障害だと思う。また、認知症のお年寄りについても、わかる人はわかるが、どう対応してよいかわからない人もいる。こういう人たちについては、災害時、ハードとソフトの両面からの対応を考えなくてはならない。

例えば、自閉症の方の場合、日常生活の中でもタイムスケジュールどおりに1日を暮らさないと、パニックを起こすことがあるので、災害のときは、その人の不安は想像を絶するものがある。その人たちのパニックをなくすことはできないが、周りの人たちが、障害の特性とか、災害時にどう対応したらいいかというマニュアルをつくって、避難所や近所の人とか、そういう人が必要なときに見られる状態をつくっておかないといけない。障害を持つ人たちの不安を少しでも解消して、そのことによってパニックが起きなければ、周りの人も楽なので、マニュアルをぜひつくってほしい。



### 【市長】

障がい者の災害時の対応についてお話しいただきました。市としても今、災害時要援護者支援という取り組みを進めているところですが、要支援者を手挙げ方式にすると、そういう対象にみずから名乗っていただけないという状況も課題として見えてきましたので、もう少し取り組みを理解してもらおうような工夫もしていきたいと思っております。

一方で、障がい者の通所事業を運営する市内の法人で、今年1月に「障害者自立支援協議会」という組織ができて、そのテーマ別の部会の中で災害時の対策、対応について今年度の主要テーマとしています。その協議会には市の職員も入っていますので、大いに議論をしながら、必要な方針やマニュアル等の整備を研究していきたいと思います。

## 9. 御殿山地区の避難経路について

### 【ご意見】

御殿山2丁目に住んでいる。御殿山2丁目は、玉川上水とJRに挟まれた細長い地域であり、災害が発生したときに、避難するにはJR高架の下を通っていかなければいけないが、例えば、JRの列車が停止して、高架がつぶれたら、どうしたらよいか。また、反対側は玉川上水なので、以前、市長が、三鷹駅からむらさき橋までの間に1カ所ぐらい玉川上水を渡る橋があるといいと言ってくれたことがあったが、そのあたりのお考えもお聞きしたい。

現在、横河電機の社宅だったところにマンションが建てられている。そこには以前、水槽があったが、その水槽はその後どうなっているのか。また、御殿山では、日本生命の社宅とJRの社宅の跡地が、広大な空き地になっており、JRのほうは塀に囲まれているが、日本生命のところは、草の丈が2mぐらいに伸びている。閉鎖されてはいるが、もしもあそこに子供が入り込んだりしたら、目につかないのではと不安を感じている。



### 【市長】

御殿山2丁目については、中央線の南側に位置するところで、北側とは線路によって分断された地域です。避難の際には、必ずしも北に行くだけではなくて、場合によっては三鷹市にも行っていただいても結構です。市域を超えて一番近い避難所に行っていただきたいと思いますが、現在、三鷹駅からむらさき橋の間には、人が渡る橋がありません。御殿山通りは、プロムナード化を予定しています。反対側は三鷹市の「風の散歩道」が整備されていますが、その両方の散歩道を結ぶような中間地点で、何らかの人道橋が設置できないかを東京都にも投げかけています。ところが、ここは文化財であるということで、大きなネックになっています。しかし、市としては、回遊性のあるまちは安全につながっていくと考えていますので、そういう面も含めて人道橋の設置について、これからも東京都や三鷹市とも協議をしていきたいと思っています。

それから、御殿山2丁目には、JR社宅の跡地ということで大きな空き地があります。当初は集合住宅の建設予定がありましたが、持ち主がいろいろ変わって、高い価格で購入したために、事業化がなかなかできないということで、今、止まっている状況です。ただし、敷地は、その持ち主が管理しなければならないことになっています。草ぼうぼう、あるいは、不法投棄物があったらいけませんので、きちんとした管理をするよう、敷地の持ち主に申し伝えたいと思います。横河電機社宅跡の敷地の防火水槽については、今情報を持っていませ

るので、お調べいたします。(※確認結果については、29ページをご参照ください。)

## 10. 災害時の小中学生・高校生・大学生の協力について

### 【ご意見】

吉祥寺南町に住んでいる。東京消防庁の災害地震ボランティアをしているが、このボランティアができたきっかけは、阪神・淡路大震災で、消防署や消防団だけでは人手が足りないということが現実にあったからだ。知識と技術を持った一般市民を養成しようということで設置されて、13年たっている。災害はいつ起きるかわからない。日頃、何もないうきにどうしたらいいのか備えることが大事だと思う。自分は応急手当普及員という資格を持っていて、市内の各施設で応急手当の講習会に参加して教えるようにしているが、災害のときに、市内にいる若者に協力を頼まなければいけないこともあると思うので、中学生、高校生、小学校高学年といった層に防災知識をもう少しきちんと普及させてほしい。現在、学校でも応急手当の講習をしているが、全部の学校で行われているわけではないし、学校によっては卒業間際に普通救命資格を取って、卒業式のときに授与するといった状況である。市として、若者にいかに協力してもらえるかということをお考えいただきたい。教材費には補助金が出るはずなので、教育委員会や学校関係は、ぜひ協力していただきたい。



境南小学校がモデル校となっているが、災害時には、市内すべての学校を避難場所として、自主防災組織などの組織づくりをなるべく早く充実したものにできるように行政からもバックアップをしてほしい。

今度も8月31日に第三小学校で総合防災訓練があるが、参加する市民がいつも同じ顔ぶれであり、本当に参加してほしい方たちの参加が少ない。武蔵野市には、せっかく防災推進員の方がいるので、そういう方たちの活動をもう少し充実させてほしい。

### 【市長】

支援ボランティア活動につきまして、ありがとうございます。いろんなところで活動いただいておりますので、引き続きお願いしたいと思います。応急手当の普及として、若者の参加は私も大切なことだと思いますので、教育委員会にも、こういう取り組みはどうか投げかけてみたいと思います。さらに、武蔵野市の特徴として、昼間は学生の数が極めて多いのです。約3万人近くいます。すでに、亜細亜大学で取り組みを進めていただいております。また、成蹊大学でもNPOの組織があり、そのような形で地域の大学が地域の防災に目を向けていただき始めています。これからも、大いに協力を呼びかけていきたいと思っております。

自主防災組織については、現在も、いくつかの組織には、大変活発な活動をいただいているところですので、それを参考に、他の地域にも広げていきたいと思っております。そういう活動に関わられる方は、他の活動もされている場合も多々ありますが、ぜひ重ねていろんな活動

をお願いしたいと思います。



避難所の開設については、皆さん少し誤解があるかもしれませんが、市が責任を持ってやることになっています。市内20カ所の避難所については、市の職員が初動要員として各8名ずつ駆けつけることになっています。避難所の安全を確認した後、3時間以内に避難所の開設を目指しています。一時避難場所は、基本的に、校庭等の外になります。まずは、校庭等に避難いただいて、学校施設の安全が確認されたら、校舎を避難所として開設しますので、若干時間がかかるというのは皆さんご理解いただきたいと思います。

## 11. 境南町4丁目の旧郵政宿舎跡地について

### 【ご意見】

境南コミセンの自主防災組織の代表をしている。境南町には、約14,000人、約7,300戸を代表して、大きく分けて小学校の自主防災とコミセンの自主防災の2つの組織がある。それで、他のコミセンのことも多少は勉強している。境南町4丁目に、旧郵政宿舎の跡地があるが、あれは市が購入するのか、もしするのであれば、あそこを防災の拠点にできないかということのを第一に考えてほしい。

### 【市長】

境南町での自主防災の取り組み、本当にありがとうございます。境南町4丁目の郵政省跡地という空き地があつて、私ども、何とかあそこが有効利用できないかという強い思いはありますが、いかんせん膨大なお金がかかりそうなので、慎重に検討しているところです。もし安く求められるのであれば、オープンスペースとしては、当然のことながら防災機能を持った利用をしていきたいと思います。今言えるのはそこまでです。

## 12. 吉祥寺東町地域における災害対策について

### 【ご意見】

吉祥寺東町に住んでいる。吉祥寺東コミュニティ協議会として、かなり長い間、防災に取り組んでいるが、市の評価では、危険度が高い地域と言われている。住民としては自覚が薄かったが、南北の道だけが発達していて、東西につなぐ道路がないので、火災が発生した場合の逃げ道がないという問題がある。今から道路をつくるのは大変な気がするので、住民のお宅の裏道をお借りして、災害時にだけは通していただけるようにしておいてほしい。

今、東部福祉の会で災害時の要援護者避難支援事業もやっているが、縦の道しか発達していないところは、助けてあげようという方が近くにいても、ぐるっと回ると大変遠くなってしまうということがあって、逃げ道ができるだけ近いところにあるということが大事だ。

もう一つは、昨年、第三中学校でお泊まり体験をした。三中では、地下2階を避難所としているのは大問題だが、それ以外にも、もしここで赤ん坊が泣き出したら、動揺してしまう

ということで、障がい者以外にも、乳幼児とか認知の方などには、別な場所が用意されるべきだと思う。お寺や教会など他の施設と契約して、万一のときには使わせてもらって分散するようなことも考えていただけないか。

### 【市長】

吉祥寺東町については、防災の観点からは危険度の高い地域です。町ごとに危険判定がありますので、地区別の資料をコミセンでも掲示していただいて、各地域で、危険度がどれくらいかを認識いただきたいと思います。危険度によって対策が変わってきますので、不燃率が低いところは不燃化に向けていろんな取り組みをすとか、広場が不足しているところは積極的にオープンスペースを確保していくといった取り組みも必要になります。

特に、吉祥寺東町の場合は、道路が短冊形で、細長い道がずっとつながっていて、隣の道に行くのにはぐるっと回らないといけませんので、避難のときに、家の敷地の中でも移動できる場所があるのであれば、それは事前に協力を要請していくのも一つのアイデアかもしれません。しかし、いざ、火事が起こって逃げなければならないというときは、そういうところを無視してどんどん行ってください。まず命を守るのが先決ですので、断らないで結構です。責任は私が持ちます。



### 【ご意見】

物置などが設置してあると通れない。だから、事前にどこか避難路を確保していただく必要がある。

### 【市長】

現状では避難できないということですよ。ただ、避難動線がかなり長いという課題もありますので、そういうことを含めて、ぜひ一緒に研究していきましょう。

第三中学校については、体育館が避難所になっていて、階段を使わないといけないという課題も認識しています。ただし、介護が必要な方には、二次避難所として、福祉施設を予定していますので、そちらに誘導していくことになります。

赤ちゃん対策は、なかなか難しいかもしれません。確かに環境に慣れていない子どもたちは不安で泣くという場面も多々あります。そういう避難所のすみ分けについては、もう少し研究をしていきたいと思います。

避難所に関連して、もう一つ課題なのは、ペットですね。市内でペットを飼われている方が多いのです。市内で、犬は1万匹ぐらい飼われていますので、獣医の皆さんと今いろいろ研究をしているところです。

### 13. 屋外広告物について

#### 【ご意見】

吉祥寺南町に住んでいる。先日、立川断層を震源とした地震があった。数年前に吉祥寺のまちをタウンウォッチングしたときに、看板が気になる箇所があった。崩れてしまいそうな看板や、屋上の看板、壁面の看板もある。路上に大きく出ている看板もすごくある。この武蔵野市で大地震が起きた場合、吉祥寺のまちの看板は、安全になっているのだろうか不安に感じたので、そのあたりのことをお聞かせいただければと思う。

#### 【市長】

看板についても、大変気になるところでして、先日も吉祥寺のとある看板の一部がはげ落ちた事例がありましたが、基本的には、一定規模以上の看板はきちんと構造計算もして、市の確認もとって掲出をされているのです。しかし、一定規模以下のものについては、届け出



がないものが多々ありますので、それはなかなか市としてもチェックがしづらい状況にあります。危険なものがありましたら、市に一報いただければ、指導をしていきたいと思えます。広告物は、東京都の屋外広告物条例に基づいて設置されていますので、市の権限が及ばず、なかなか融通がききにくい面があります。将来的には、市で広告物条例の基準を持つことによって、安全な設置に向けた指導をしていければと思います。

### 14. 新型インフルエンザ対策について

#### 【ご意見】

桜堤に住んでいる。鳥のインフルエンザがパンデミック（※）になるということは確実視されていて、これがいつ起きるのか時間の問題だと言われている。企業のほうの対策がどれぐらいされているかというところ、約6割が対策を全然していないという調査結果がある。なぜかというところ、一つの企業の対策の枠を超えてしまうので、あきらめるしかないからだ。その中で、自治体あるいは国のほうの指示に従うというところもある。武蔵野市の中にも大きな事業所、集会所、駅、人が集まる場所がたくさんあるので、万が一パンデミックが起きるようなフェーズ4、フェーズ4A、フェーズ5となった場合に、どういう行動指針やガイドラインを持っているのかを教えてください。

#### 【市長】

新型インフルエンザについては、なかなか厳しい課題でして、今、対策が十分にできてはいません。しかし、市としては、市長のほか、警察署長・消防署長・消防団長・保健所長で構成する「生活安全会議」の中で、その取り組みについて検討を進めているところです。

---

(※) パンデミック…感染が、世界的な規模で広範かつ急速に流行する状態。

体的な話は、防災安全部長からお話します。

### 【堀井防災安全部長】

この新型インフルエンザは、非常に大きな問題だと十分承知してしまして、現在、市役所の安全対策課と健康課が共同で取り組んでいます。現在は、そういうものが起こった場合の基本計画までできています。基本計画では、フェーズごとにこういう課題がある、こういうことをしなければいけない、それをどこの課がやる、ここまでは決まっているんですが、その先の、その課が具体的にどういう手順でどういような手段を用いてやるか、これはまだできておりません。今後の課題になっております。

今一番の課題は、2つありまして、1つは発熱センターです。発熱センターをどこに設けるか、それをだれがどうやって運営していくのか。外来患者、新型インフルエンザの患者だけは、他に感染しないように別の診療場所で診なさいという大きな方針があります。その発熱センターをどこに設けるか、市内1カ所でもいいのか、中学校地区に1カ所設けなければいけないのか、これが課題としてあります。

もう一つは、対市民用のタミフル（インフルエンザ治療薬）を中心とする対応策です。これは、すべてのインフルエンザに効くとは限りません。事前に飲んでいただく場合も、必ず効くということではなく、効く可能性があるということの備蓄になりますので、これをどの程度の分量を揃えていくか、経費のかかる話でもありますので、平成 21 年度予算の要求事項の中に盛り込んで検討していきます。国のほうは、現在、移動制限ということでの対策を重視しています。これについては学者からの批判もあって、現実には今の社会では難しいのではないかと。対症療法的なタミフル等の医薬品により、発生初期、フェーズの低い段階で一斉に押さえ込むのが一番いいのではないかとという意見があります。私どももそのほうがより適切であると考えています。武蔵野市で全員電車に乗ってはいけないと言っても、なかなか難しい話だと思いますので、タミフルの備蓄も含めて、来年度の予算の課題として検討しています。



## 15. ハモニカ横丁のトイレについて

### 【ご意見（ハモニカ横丁祥和会）】

ハモニカ横丁では、夜警もお願いしてやっている。バケツを 15 杯ぐらい積んであって、それを今度は消火器にかえようということで、武蔵野消防署吉祥寺出張所へ行ったら、消防署ではそういう援助は一切やらないと言われた。自分たちでやってもらうということだが、市で何か援助ができるようなことがあったらお願いしたい。

それから、便所については、駅前のサーティワンのところに昔トイレがあった。それを市がなくなってしまっていて、今度は、南口の公衆トイレがなくなり、現在、公衆トイレが武蔵野市にはない。デパートとかスーパーが開いているときは、みんなそこに入るが、店が閉まって

いる時間帯には、タクシーやバスの運転手は、ハモニカ横丁の便所に駆けて来る。私は、埼玉県の飯能に住んでいるが、どこへ行っても立派なトイレがある。武蔵野市にトイレがないなんておかしい。

**【市長】**

ハモニカ横丁の件は、同じ質問なので、また議論をしていきましょう。あそこは大変魅力的な町並みであることは間違いないので、その雰囲気を持したうえで、いかに安全を生み出せるかどうかについては、市としてもできる範囲でぜひ考えていきたいと思います。皆さんもぜひ取り組みのほど、よろしくお願いします。